

## 令和3年度 わかあゆ認定こども園自己評価結果

### 1. 教育・保育の目標

園児一人一人に応じた教育・保育を一体的に行い、心身ともに健康で明るく、たくましい子を育てる。

■ 目指す子どもの姿

- げんきにあそぶ子
- あいさつのできる子
- おもいやりのある子
- じぶんのことはじぶんでできる子

### 2. 重点的に取り組む目標・計画

- 危機管理を徹底し、子どもたちが安心、安全に過ごせる環境づくりに努める。
- 教育、保育の質の向上に向けた職員間の話し合い・情報共有の機会を充実させていく。
- 保護者と情報交換を図り、子どもの育ちを共有する。
- 子ども同士や保育教諭等との遊びを通じて総合的な指導を行う。
- 子どもたち一人一人の特性や発達の過程に応じた指導を行う。

### 3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	取組状況
認定こども園教育・保育要領に基づき、園児の実態に即した指導計画が作成されている。	A	園児の発達の様子が毎年違うが、その特徴を捉え、指導計画を基に日々の教育・保育の中で育ててほしい姿を職員で研修しながら作成した。 一人一人の発達をより理解するため、個人記録の重要性を話し合い、作成した。
指導計画により、計画的に教育・保育が行われている。	A	指導計画・週日案等により日々つながりのある保育や園児に即した計画実践ができるよう、園内研修や職員会議で検討。更に学年間で情報交換し、子どもの発達や指導の仕方について共有した。
教育・保育に適切な環境が構成されている。	B	「子どもの発達に応じた環境構成とは」をテーマに園内研修を進め、環境を通して行う教育及び保育の特質や計画的な環境の構成、教材の工夫等について話し合い、実践した。
規則正しい生活習慣の定着に向けての指導が行われている。	B	園児の家庭環境の把握や発達の特性を理解し、保護者への支援をしながら園児個別に応じた援助をこころがけた。
職員の資質向上に係る取組について	B	コロナ渦の影響で研修が中止になったり、リモートになることが多かったが、積極的に参加し、園内研修や職員会議の場で情報を提供し、職員全体で共有した。 教育センター職員の派遣を依頼し、助言、指導を受けた。
幼小連携に係る取組について		こ小連携会議への参加、園・学校相互の訪問などを通

	A	して小学校や関係機関と連携をとり円滑な継続を図った。 接続期の教育を充実させるため、小学校の職員と本園の職員が交換授業(保育)を行い、お互いに子どもの育ちを共有し合った。
安全管理の取組について	A	月1回の交通安全教室、避難訓練。総合避難訓練の年2回実施。各マニュアルの共有。教育調査研究委員会(県)の研修に参加した職員から他の職員への周知。
子育て支援事業について	B	子育ての不安を聞くことで、育児に対する悩みを少なくできるように一緒に考えたり、援助したりした。
情報の公開・発信について	A	毎月の園だより、保健だより、ホームページの活用。一斉メールでの周知。

※評価結果の表示方法

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取組が不十分である

4. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取組方法
職員の資質向上	外部研修に積極的に参加し情報の共有をしたり、園内研修を充実させたりし、園職員全体の資質向上を図る。
職員間の連携	報・連・相の徹底で園児の姿を共通理解し、誰が対応しても統一した関りができるようにする。 協力し合える環境作りに務める。
運動能力の向上	「運動プログラム」の活用。 姿勢の維持、意欲がある園児を育てる教育・保育を行っていく。
環境構成	見通しを持った、環境の構成。 環境を構成する際の教材の工夫。

令和4年3月31日

評価者

那珂川町立わかあゆ認定こども園

園長 川 上 清 美

